

全国協議会 ニュース

2007年1月1日発行
第175号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:品川 保弘
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

新春を迎えて

特定非営利活動法人

全国骨髄バンク推進連絡協議会

会長 大谷貴子



皆様、明けましておめでとう
ございます。

そして何よりもはじめに、昨
年一年間に骨髄を提供してくだ
さったドナーの皆様、ドナーを
支えてくださった多くの皆様に、
心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、年少少女が自
らの命を絶つという、痛ましく
悲しいニュースが、幾度となく
社会を駆け巡りました。命はそ
んなに軽いものではないはずで
す。また、生きるということに
けつして簡単なことでもありま
せん。どんなに辛い治療にも
耐え、病氣と闘いながら、生き
ることに真面目から立ち向かっ
ている人たちがたくさんいます。
そういう人たちがいることを
知ってほしい。そして、もつと
自分を、周りの人を大切にして
ほしいと願っております。

骨髄バンクには、社会が失い
かけているぬくもりが一杯詰
まっています。私たちも、骨髄
バンク運動を通して少しでも生
きることをすばらしさ、支えあ
うことのすばらしさを伝えてい
ければ、もつともつと多くの患
者さんを救うことができるだろ
うと感じています。

日本骨髄バンクができて15年
今一度初心に返り、私たちの活
動から「命の尊さ」を発信して

いきたいと思ひます。

財団法人 骨髄移植推進財団

理事長 正岡 徹



謹んで迎春のご挨拶を申し上
げます。これまでの骨髄バンク
事業の発展は、本事業にご理解
とご支援をいただきましたボラ
ンティアの皆様や関係者のご尽
力の賜物であり、厚く御礼申し
上げます。ドナー登録者30万人
という目標につきましても、本
年中に達成される見込みであり
ますが、それでもなお、ドナー
の見つからない患者さんがおら
れます。本年も、一人でも多く
の患者さんに一日も早く骨髄移
植の機会が訪れますよう、ド
ナー登録を推進し、より一層の
コーディネート期間の短縮やド
ナー安全対策の強化、国際協力
の推進などに努めてまいり所存
でございます。

これからも、骨髄移植を必要
とする患者さんのため、ドナー
登録推進と骨髄バンクの普及啓
発にご支援、ご協力を賜ります
ようお願い申し上げます。

厚生労働省健康局疾病対策課
臓器移植対策室長 原口 真



新年明けましておめでとうご
ざいます。年頭に当たり、一言

ご挨拶をさせていただきます。

白血病患者の血液難病の患者

の方々に骨髄移植の機会を広く
公平に提供することを目的とす
る骨髄バンク事業は、今年で
十六年目を迎えます。この間、
会員の皆様方をはじめ多くの関
係者の方々の御尽力により、ド
ナー登録者は26万8千人を超
え、また、バンクを介して行わ
れた骨髄移植は7千9百例を超
えました。特に、近年は、多く
の方々のこれまでの努力の積み
重ねにより、骨髄移植への理解
が深まりドナー登録者数が飛躍
的に伸び、30万人という目標の
達成も間近なものになってまい
りました。ドナー登録をされた
方々や実際に骨髄を提供された
方々、さらにはバンク事業に携
わる関係者の方々と並びに全国各
地でバンクを支えていただいで
いるボランティアの皆様方の御
支援、御努力の賜物であり、深
く敬意を表します。

厚生労働省臓器移植対策室と
いたしまして、ドナー登録者
数の確保に向けて、今後とも関
係機関と連携して普及啓発活動
等による事業の一層の推進に努
めてまいりますとともに、移植
希望者数並びに移植件数の増加
に対応するため、あつせん体制
の強化を図り、一人でも多くの
患者さんが骨髄移植を受けられ
るよう、全力で取り組んでまい
ります。そして、国民の皆様方
の理解がより一層深まり、一人
でも多くの方が骨髄バンクに登
録して下さることを切に願っ
ております。

日本赤十字社
血液事業本部長 西本 至



平成19年の新しい年を迎え、
謹んでお慶び申し上げます。
昨年は数多くの骨髄ドナー登
録希望者の方に登録いただき、
昨年11月には累計登録者数は
33万人、有効ドナー登録者数も
26万人を超えました。

これもひとえに骨髄バンク事
業に携わる関係者及び貴協議会
をはじめ、全国各地で活動され
ているボランティアの皆様のご
尽力の賜物と深く敬意を表しま
す。

日本さい帯血バンクネットワーク
会長 鎌田 薫



新年明けましておめでとうご
ざいます。

日本さい帯血バンクネットワー
クは、平成11年8月に発足し、
満7年が経過し、現在11のさい
帯血バンクと共同事業を展開し
ているところであります。昨年
は、5月にはさい帯血バンク事
業を介したさい帯血の移植症例
が3000例を超え、9月には
秋篠宮さま、紀子さまが悠仁さ
まのご出産に際し、さい帯血を
ご提供されるという大変喜ばし
い出来事もありました。

これからも骨髄バンクと連携
をし、移植を待つ患者さんのた
めに共に努力しながら一層の発
展を目指していきたくと思いま
す。さい帯血バンク事業に対す
るますますのご理解とご支援を
お願いするとともに、新年が皆
様にとりまして、より良い年と
なりますよう祈念いたします。

特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

理事長 品川保弘



これもひとえに骨髄バンク事
業に携わる関係者及び貴協議会
をはじめ、全国各地で活動され
ているボランティアの皆様のご
尽力の賜物と深く敬意を表しま
す。

日本赤十字社では、今後とも
骨髄ドナー登録希望者の方がよ
り登録しやすい環境作りや検査
体制のより一層の強化に努め、
関係者の皆様と一丸となって骨
髄バンク事業の更なる発展に寄
与して参る所存であります。

最後に、貴協議会のますます
のご発展と皆様のご健康を祈念
いたしまして、新年の挨拶とさ
せていただきます。

「はじめに患者ありき」
この視点を、すべての関係者の
皆様と共有しつつ前進してまい
りたいと思ひます。本年もよろ
しくお願い申し上げます。

財団から回答書 セクハラ・パワハラ疑惑問題

全国協議会は、財団元幹部職
員のセクハラ・パワハラ疑惑を
告発した職員が解雇された問題
について、財団に対し「事実関
係と懲戒処分判断根拠を明ら
かにし、信頼回復に向けた具体
的な方策を示すこと」を求め
ました(要請書本文は前号に
記載)。

20日に財団から回答書が届き
ました。回答の主旨は、①事実
関係および判断根拠については、
解雇された元職員から提訴され
ることも想定されることから説
明は控える。②信頼回復に向け
て組織運営体制の見直しを行
うとともに、全国協議会を始め
ボランティア団体との意志疎通を
図るために「骨髄バンクボラン
ティア連絡会」(仮称)を設置
しました。

この回答を受け、全国協議会
は12月17日に開催した第66回理
事会で、回答内容は全国協議会
が求めた社会的な説明責任を果
たしておらず極めて不満足な内
容であり、引き続き誠意ある対
応を強く求めることを財団に対
し文書で表明することを決定し
ました。

第66回理事会報告

12月17日
全国骨髄バンク推進連絡協議会事務局

〈10、11月会計報告〉

〈報告事項〉

〈協議事項〉

- 名義後援、承認案件
- 2008年ボランティアの集
い開催地募集
- 専従事務局員賞与について
- 新宿区主催「ハーフマラソン大
会(1月27日開催)」での普及
啓発活動
- 財団との協働体制作り
- 情報誌「骨髄バンク」第9号
発行
- アステラス製薬助成金申請
年賀はがき助成金監査終了
- ノースウエスト航空個別面談
ノースウエスト機内誌掲載の
状況
- 「造血細胞移植医療将来像検
討会議」現況
- 財団宛セクハラ・パワハラ関
連要望書その後
- 財団関連

骨髄バンクの最新情報をお知らせする 骨髄バンクNOW

● ヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤使用歴のある方の対応について
薬事・食品衛生審議会血液事業部安全技術調査会において、ヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤使用者に関する対応について審議が行われ、献血を制限する措置を講じることとされました。これを受けて厚生労働省健康局長より今後の対応について通達が発出されました。

通達の内容は、ヒト胎盤エキス注射剤の使用により、変異型クローンフェルト・ヤコブ病を伝播するリスクがあるため、当分の間の予防措置として、使用歴のある方からの骨髄提供は見合わせるというものです。患者さんとHLA型が適合した場合、コーディネート開始時に使用歴の確認を行い、ヒト胎盤エキス(プラセンタ)注射剤使用歴が判明した方については、コーディネート終了とし、ドナー登録は55歳の誕生日まで保留となります。

● 日本骨髄バンクの現状(平成18年11月末現在)

	10月	11月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,974	3,460	268,015	337,250
患者登録者数	158	191	3,306	21,694
骨髄移植例数	77	86	-	7,901
20歳未満ドナー	327	187	4,439	-
51歳以上ドナー	191*	118**	5,513***	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*51歳以上ドナーの延長数 **51歳以上ドナーの新規登録数 ***17年9月〜

骨髄バンクボランティアダイヤル
フリーダイヤル
0120-892-106

